

5-5) 脾臓病変

1) 全体像

サルコイドーシスでは、脾臓にサルコイド病変を形成している例は多いが、自覚症状や検査所見の異常を呈する例は少ないとされている。

これまでの報告でみると、脾サルコイドーシスの症状は脾腫に伴う左季肋部痛、腹部膨満感、腹痛、圧痛の他、発熱、全身倦怠などを伴うことがあるが、その頻度は約2～16%と少ない。しばしば肝腫大、腹腔内リンパ節腫大を伴う^{1,2)}。稀に低血糖発作を生じた例も報告されている³⁾。脾サルコイドーシス病変の頻度は1939年から1999年までのサルコイドーシス国内剖検例469例中42.4%で、肺、心病変に次ぎ高頻度である⁴⁾。Iwaiらの日米剖検例同時検討で、日本人、米国caucasian症例では同様に、肺病変約80%、脾病変は約40%に認めた⁵⁾。なお脾臓に限局した本邦報告例は23例にすぎない⁶⁾。

2) 検査・診断

血液検査では脾機能亢進に伴い、汎血球減少が認められることがある。血清ACE高値は高頻度に認められる。画像所見としては、腹部超音波で多発性の低エコー域を呈する。腹部単純CTでは多発結節ないし索状の輪郭明瞭なlow density areaを認める。MRIでは、T1強調像で等～高信号、T2強調像で低または高信号の多発結節を認め、FDG-PETでも集積する^{7,8)}。以上のような腹部画像所見の特徴から、鑑別診断として悪性リンパ腫、脾結核、転移性悪性腫瘍を考慮する必要がある⁹⁾。確定診断には腹腔鏡下あるいは経皮的脾生検が必要になる場合があり、出血に留意する。

3) 治療・予後

脾臓サ症の治療に関して、他臓器のサ症同様、自覚症状や機能障害を伴わない潜在性のもものはステロイド治療の対象にはならない。著明な自覚症状を伴う場合はステロイド投与の適応とされる¹⁰⁾。ステロイド治療後、CT上の多発性脾結節性病変が改善、消失し、脾病変と同時に存在した多発性肝結節性病変も同時に改善、消失した症例も認められる^{11,12)}。脾摘術は巨脾、脾機能亢進、悪性疾患との鑑別が困難な症例などが適応になる¹³⁾。

4) 代替治療

ステロイド不応例にはメトトレキサート、アザチオプリン、シクロホスファミドなどが投与される^{14,15)}。

文献

- 1) 立花暉夫：肝臓・脾臓・消化器。安藤正幸，四元秀毅監修。日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会編。サルコイドーシスとその他の肉芽腫性疾患。克誠堂出版，東京，2006；94-101。
- 2) Lynch JP 3rd, Sharma OP, Baughman RP: Extrapulmonary sarcoidosis. *Semin Respir Infect* 1998; 13: 229-54.
- 3) Ogiwara Y, Mori S, Iwama M, et al: Hypoglycemia due to ectopic secretion of insulin-like growth factor-I in a patient with an isolated sarcoidosis of the spleen. *Endocrine J* 2010; 57: 325-30.
- 4) 立花暉夫，武村民子，岩井和郎：脾病変を有するサルコイドーシス全国剖検例の脾病変の検討。日サ会誌 2011; 31: 11-15.
- 5) Iwai K, Sekiguti M, Hosoda Y, et al: Racial difference in cardiac sarcoidosis incidence observed at autopsy. *Sarcoidosis* 1994; 11: 26-31.
- 6) 野村尚弘，山下克也，武藤俊博，他：脾臓に局限したサルコイドーシスの1例。日臨外会誌 2012; 73: 976-81.
- 7) Robertson F, Leander P, Ekberg O: Radiology of the spleen. *Eur Radiol* 2011; 11: 80-95.
- 8) 立花暉夫，林 清二，坂谷光則，他：脾病変を有するサルコイドーシスの臨床的検討。日サ会誌 2002; 22: 25-30.
- 9) 星野博之，野尻和典，斉藤健人，他。画像上他疾患との鑑別が困難であった脾サルコイドーシスの1例。日臨外会誌 2009; 70: 2492-7.
- 10) Judson MA: Extrapulmonary sarcoidosis. *Semin Respir Crit Care Med* 2007; 28: 83-101.
- 11) Sakai T, Maeda M, Takabatake M, et al: MR imaging of hepatosplenic sarcoidosis. *Radiat Med* 1995; 13: 39-41.
- 12) Warshauer DM, Molina PL, Hamman SM, et al: Nodular sarcoidosis of the liver and spleen: analysis of 32 cases. *Radiology* 1995; 195: 757-62.
- 13) 西岡宏彰，平林邦昭，碑野孝治，他：脾摘が汎血球減少症に対して著効を示した巨脾サルコイドーシスの1症例。日臨外会誌 2005; 66: 1739-42.
- 14) サルコイドーシス治療に関する見解—2003 日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会，日本呼吸器学会，日本心臓病学会，日本眼科学会，厚生省科学研究—特定疾患対策事業—びまん性肺疾患研究班 編 サルコイドーシスとその他の肉芽腫性疾患，日呼吸会誌 2003; 41: 151-9.
- 15) 大道光秀：サルコイドーシスにはどんな治療法がありますか？ 杉山幸比古監修 山口哲生，四十坊典晴編。サルコイドーシス診療Q&A集。厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業 びまん性肺疾患に関する調査研究班。2013; 37-40.